日本共産党久喜市議団　No.38

市議団ニュース

連絡先
木村奉憲22－8567、杉野　修58－9010
石田利春52－7260、渡辺昌代21－9058

2012年2月19日号

予算議会始まる

「税と社会保障の一体改悪」地方からストップの声を

久喜市の２０１２年度年間予算を決める予算議会が２月14日から始まりました。折しもいま、民主野田政権が「税と社会保障の一体改革」と称して消費税増税をはじめとする国民負担増と、社会保障の切り捨て計画を進めようとしています。こういう時に開かれる議会です。久喜市としては、市民の暮らしと福祉をしっかり守る施策を明らかにすることこそが求められています。しかし、提案されている議案は市民の願いとはうらはらのものが目白押しに。

田中市長の「市政運営並びに予算編成の基本方針」の特徴

前向きな方針としては。

◆学校耐震補強整備事業では久喜市小学校耐震工事と太田小学校大規模改修工事の設計など。

◆東日本大震災では支援基金を設置し、被災者の家賃補助の他液状化対策検討委員会の設置

◆地域防災計画の見直しでは、ハザードマップの作成。耐震診断補助に加えて耐震改修にも補助など。

暮らしを守り福祉優先をの市民の願いから見ると

◆国保、水道料金、給食費、介護保険料、ゴミの指定袋有料化など、市民への負担増が推し進められているにもかかわらずまったく触れずに無視しているのが特徴。

◆地域循環型の経済は示されず、大型開発、企業誘致を中心とした施策、清久工業団地周辺の開発などが重視されている。

市民負担増がズラリ！

国民健康保険税・介護保険料・水道料金

1億6,786万円・　3億7,016万円・1億8,406万円

（23年度24年度の予算額対比の数字です）

24日に「日曜議会」が開かれます！
渡辺議員が代表質問をおこないます

《代表質問》の骨子

◆国の「税と社会保障の一体改革」では消費税の大増税と介護保険料や年金など社会保障の改悪の内容だ。市長としてはどのように考えるか。

◆TPPへの参加は「例外なき関税撤廃」となり、農業から医療に至るまで国が崩壊しかねない影響をもたらすと考える。反対をしっかり表明すべきではないか。

◆今年度、市は国保税、介護保険料、水道料金など軒並みに市民負担増を計画している。納得がいかない。市民に対してはどう説明されるのか。

◆放射能測定器の市民への貸し出しを進めること。給食の食材のチェック強化を。「原発ゼロ」の声を上げよ。

◆農業は中長期の振興策を立て、市として本腰を入れよ。

◆循環バスの拡大、医療充実など「市民安心の地域」を。

◆市民参加で「地域防災計画」を見直し、液状化対策や放射能対策など「災害に強いまちづくり」を。　等々

議会終了後に全員協議会開かれる

報告事項は

1、あゆみの郷（趣味の家）がプール寄りに新築移転します。
（工期は2月末から7月初旬）
2、鷲宮児童館が「日曜開館」になります。
3、久喜市中央保育園の分園が「園児の卒園、新規応募なし」で休園になります。
4、「利根保健医療圏地域医療ネットワーク」について。
5、栗橋南小学校北校舎改築事業について。
（内容の詳細は追ってお知らせします。）

住民の願いを市政にとどけます　各議員の一般質問

石田としはる

（質問日）２月 28 日　２番目

1. 南栗橋復興に向けた取り組みについて

南栗橋の液状化被災から１１ヶ月が過ぎたが未だ多くの被災者が復旧に至っていない。今後の支援策はどうか。

2. 栗橋地区健康福祉センター「くりむ」の再開はいつ

ひざ痛などのリハビリとしても活用されていた。ろ過器など修繕し早く再開すべきと考えるが。

3. 小規模契約登録制度について

合併後小規模事業者の仕事は極端に少なくなり、廃業を考えている方もある。市内業者の受注機会を拡大することを目的としている。小規模契約登録制度の実態と今後の方針を伺う。

4. デマンドバスで、栗橋から直接久喜市の中心部へ行けるようにすべき

栗橋・鷲宮地域のエリアに限定して走らせる案となっている。栗橋地区や菖蒲地区から久喜総合病院や市役所など、久喜市の中心部に行くとき乗換なしで行けるようにすべき。市の考えは。

杉野おさむ

（質問日）３月１日　２番目

1. 久喜市の「公契約条例」制定を

公共事業を受注した企業の傘下で働く労働者には最低賃金を保障すること。入札も透明なものに。

2. 大震災の被災地・被災者にもっと支援を

久喜市内に暮らす避難世帯には適切な福祉、医療、教育、雇用などでの支援策拡充を求める。

3.「久喜市地域防災計画」の見直しを

昨年に策定された市の計画には、軟弱地盤対策、液状化対策、また、放射能汚染対策に触れていない。大震災・原発事故を踏まえてしっかり予防策を。

4.「東鷲宮駅」の改善策を前進させることについて

「橋上化」を含めて長い間、改善を求めてきたが今年こそ「住民参加型」で利用者・住民の声が生きる駅舎に向けた前進を求める。早期の設計委託実施そして早期の着工へ。

渡辺まさよ

（質問日）２月 27 日　３番目

1.　子ども医療費の拡充について

新市の合併で通院について小学校卒業まで無料で統一されたが、県内の実施状況を踏まえ、中学校卒業まで拡大すべきでは。

2.　公立保育園の整備計画について

さくら保育園の整備計画は。中央・青葉保育園の修繕は。

3.　指定避難場所の情報機器設置について

指定避難場所で緊急報道の受信対応ができない現状があれば改善すべきだが。

4. 耐震改修促進計画について

耐震診断後の改修に補助を。また、住宅リフォーム制度の導入を。

5. 市民の健康を守る施策を

がん健診の受診率向上のため、個別はがきを。市で健康づくり係をつくり、健康管理、元気で長生きできる施策を。

木村とものり

（質問日）２月 27 日　６番目

1．　福島第１原発事故による放射能汚染について

市内のホットスポットに対する対応と公共施設や公園通学路の測定と高い所への除染を。また、学校給食材料の測定器の完備を。さらに市民要望への機器貸し出しを。

2. 新市を結ぶ計画道路について

計画による影響は。計画の必要性は。市全体の交通網への基本的な考え方は。今後のスケジュールと住民への対応、説明は。

３・国民保護に関する久喜市計画について新市策定の基本姿勢と行政区との整合性は。国民を巻き込む計画は、憲法に照らして問題だ。

４・久喜総合病院と地域医療連携について

医師や看護の充足と今後の予定は。地域医療連携と地域医療の現状と課題は。市民の協力と意見要望をどのように吸い上げていく予定なのか。